

鶴甲チャレンジ支援金制度（通称：つるチャレ支援金）募集要項

鶴甲地区連合自治会

1. 支援金の目的

鶴甲地域における住民主体の活動を応援し、地域のつながりづくり・安全安心・福祉・文化・子育て・環境など、多様なまちづくり活動を促進することを目的とする。

2. 申請できるグループ・個人

申請代表者が、申請時点で連合自治会の会員資格を有しているグループ・個人

会員資格とは・・・以下のいずれかの方法で年会費(1200円)を納めていること。

- ①自動引き落とし(会費ペイ)の登録を行う（登録済みであれば、引き落とし前でも可）
- ②集合住宅で取りまとめ、共益費等から一括で支払う
- ③近隣住民と協力した訪問集金等において現金で支払う
- ④ゆうちょ振込によって支払う

※①はホームページから常時登録可

3. 支援対象となる活動

条件① 主に連合自治会区域(鶴甲2丁目～5丁目、水車新田など)を対象に実施される。

条件② 営利目的・宗教活動・政治活動ではなく、公序良俗に反しない。また、営利活動への誘導とならない。

条件③ 自治会員2名以上が準備や企画運営に参画する。

上記①～③をすべて満たし、かつ以下のいずれかに該当する活動

- (A) 地域の交流促進につながる活動
- (B) 高齢者・子ども・子育て世帯などの支援につながる活動
- (C) 防災・防犯・安全安心に関する活動
- (D) 環境美化・景観向上に関する活動
- (E) 文化・スポーツ・健康づくりに関する活動
- (F) その他、自治会が地域活性化に資すると認める活動

※イベント等の場合、広く参加が呼びかけられ、希望すれば誰もが参加できるように公開することを条件とします。

(自治会が管理する地域掲示板の利用を許可します)

4. 支援金額

1件あたり 上限5万円（年度総額 30万円(予定)）

※ 複数年連続での申請も可能（申請・審査は年度単位で実施）

5. 対象経費

材料費、消耗品費、会場使用料、印刷費、広報費、講師謝金、交通費など

※ 申請年度の4月1日～2月28日の日付が記載されたレシート・領収書（原本）が提出できるもの

※ 理事会・運営委員会等において、自治会費からの支出が適切だと総合的に判断・承認されたもの

※ 人件費や飲食費、高額な備品購入など、個人に還元される要素が大きいものは不可

※ 熱中症対策として必要な水分等は支援対象に含める

6. 申請・審査・決定のスケジュール(R8 年度)

8月 1日	申請開始（申請書は自治会ホームページで公開。さらに鶴甲会館に設置。） ※ 8月上旬に地域掲示板・広報誌にて広く周知を行う。 ※ 申請書の提出方法は、申請書に記載。
8月 31日	申請メ切
9月	自治会役員・理事による審査を経て、採否を決定
10月 1日以降	申請者に採否結果を通知（採否の理由については公表しない）

※ 採決時期にかかわらず、対象経費には年度内の執行済み経費も含めることが可能。

7. 実績報告・支援金の交付

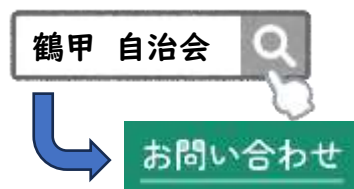
- ・ 申請にかかる支出が完了次第、連合自治会へ報告を行う。（報告様式は任意）
- ・ 追加で、広報誌やホームページの記事執筆、理事会での口頭報告などを依頼された場合には応じること。
- ・ 活動の様子がわかる写真と、領収書・レシート（原本）の提出をもって、支援金の交付申請とする。
- ・ 運営委員会（役員会）での承認後、現金にて申請代表者へ支給する。

8. 注意事項

- ・ 虚偽申請や不適切な使用があった場合、承認を取り消した上で、支援金の返還を求めます。
- ・ 活動中の事故・トラブルについては、連合自治会は責任を負いません。

9. 問い合わせ先

ご不明点については、自治会ホームページ 問い合わせフォームよりご連絡ください。
または、お知り合いを通じて、連合自治会役員へご相談ください。



よくある質問 (FAQ)

Q1. 個人でも申請できますか。

はい、できます。地域に役立つ活動であれば個人でも応募できます。
ただし、支援対象となる活動は、自治会員2名以上で準備や運営を行ってください。（自治会員1名の活動は不可）

Q2. 審査はどういったことを基準にするのですか。

地域への貢献度、実現可能性、参加者の広がり、予算の妥当性などを総合的に判断します。必要に応じて、申請者に対してヒアリングを行う可能性があります。

Q3. 申請や事後報告は大変ですか。

住民の皆さんにとって利用しやすい支援金制度を目指しています。パソコン操作が苦手な方にも配慮し、申請書は紙面での提出とします。（データ版をホームページで公開するので、パソコンで作成いただくことも可能です。）

Q4. 備品購入はできますか。

消耗品は可能ですが、高額で汎用性の低い備品は不可とする場合があります。
当制度を使って購入した備品は、他の申請者への貸し出しをお願いする場合があります。

Q5. 他の助成金などを受け取っていても申請できますか。

はい、申請可能です。支援金によって活動がより充実するのであれば、特に問題ありません。
ただし、対象経費を重複して申請することはできません。関連資料の提出を求める場合があります。